

73 Ophthalmic segment に発生した外側後方向き動脈瘤の1例

菊池 潤・嶋村 則人・大熊 洋揮
弘前大学脳神経外科

【目的】眼動脈分岐部遠位で、かつ後交通動脈分岐部直前に発生した外側後方向きの破裂動脈瘤の1例を経験した。同部の脳動脈瘤について文献的考察を加え報告する。

【方法】54歳、女性。既往歴、家族歴ともに特記事項なし。3月10日突然の激しい頭痛が出現したが、自宅安静していた。3月24日激しい頭痛が出現し前医へ独歩受診。脳CTにてクモ膜下出血を

認め、同日当科紹介入院。H & K G1, Fisher G3。脳血管撮影では左内頸動脈-後交通動脈分岐部直前に外側後方向きの動脈瘤を認めた。同日、脳動脈瘤頸部クリッピング術施行。術中所見では動脈の分岐とは直接関係なく発生した動脈瘤と考えられた。

【考察】同部の動脈瘤の名称、定義は混沌としている。これらは正中側向きに発生することが多く、Huberらの報告では同部位の外側前方向き脳動脈瘤が稀なものとして記載されている。今回の症例は脳動脈瘤発生機序を考える上で貴重な症例と考えられる。